

かけがえのない子どもたちを 「いじめ」から守りましょう



子どもにとっていじめはなかなか語りにくいもの…だから、大人が気づいてあげることが大切なんです。

いじめの理解

いじめは、人の心と体を傷つけるだけでなく、時には命を奪うことにもつながりかねない重大な人権侵害です。しかしいじめは、特定の子どもだけの問題ではなく、「どの児童生徒にも起こり得る」ものであり、いじめを受けたり、いじめを行ったりするという双方の立場になり得るという認識をもつ必要があります。また、いじめが行われている状況を見聞きし、不安な気持ちになるという状況もあります。

もし子どもの様子が気になるときは、まずは学校に相談してみましょう。学校には、学級担任や学年主任、養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、管理職など様々な教職員がいます。

教育長メッセージ

鳥取市教育委員会

教育長 河井 登志夫

不安や悩みがある時、先生や友達に相談して、自分なりに解決することができる子がいます。一方、不安を抱え、誰にも言えずに一人で悩んだり我慢したりしている子もいます。そんな中、子どもたちが、より安心安全に過ごすためには、身近に信頼して相談できる大人の存在があることがとても重要です。子どもは何気ない会話の中でさりげなく悩みを伝えることがあります。日頃からちょっとした会話をしているからこそ自分のことを話すきっかけができるのです。どうぞご家庭でもお子さんの顔を見て普段の何気ない会話を大切にし、愛情をもってしっかり話を聞いてあげてください。

学校・鳥取市教育委員会は、いじめの未然防止、早期発見、早期解決のために、保護者や地域のみなさんと一緒にになって全力で取り組みます。みなさんのさらなるご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



お子さんにいつもと違う様子や、小さな変化が見られることはありますか?
～ご家庭だけで悩まずに、心配なことは学校へご相談を！～

- 沈みがちで、表情がさえない。
- 話しかけられるのを嫌がる。
- 持ち物がよくなくなる。
- 原因不明の体の傷や持ち物の汚れがある。
- ささいなことでイライラしたり、物にあたったりする。
- 登校を嫌がる。
- 家からお金を持ち出したり、頻繁にお金をねだったりする。
- 友だちからの連絡に対して表情が暗い。
- 言葉づかいが荒くなる。言うことを聞かない。
- 買ったおぼえのないものを持っている。
- 与えたお金以上のものを持っている。おこづかいでは買えないものをもっている。

普段から子どもと学校での出来事など
話す時間を持つるように心がけましょう。

